

大腸がん検査(便潜血2回法)



便検査

血便、下血、便が細くなる、下痢便秘を繰り返す、腹痛などの症状がある方は、便潜血検査が早期発見に役立ちます。

- ・男女あわせて罹患率の高いがんで、40代から増え始めます
- ・進行するまで、ほとんど自覚症状がありません
- ・大腸がんは早期発見、早期治療で9割以上が完治します
- ・リスク要因は、肥満、喫煙、過剰な飲酒、加工肉(牛肉などの赤肉やソーセージなど)の過剰摂取



新しい便潜血検査について

便中のヘモグロビンとトランスフェリンの同時測定

ヘモグロビン 血液の成分で赤血球に含まれている酸素を運ぶ赤い色の蛋白

トランスフェリン 同じく血液の成分で鉄を運ぶ蛋白



- 同じ年度内に、人間ドックの受診(=便潜血検査)を実施している方、および健診機関等で便潜血検査を実施している方はお申込みできません。

利用
推奨

当年度内に便潜血検査をしていない
40歳以上の方

自己
負担金

500円